

Windows8 使用時に発生する Xilinx ISE14 の問題とその解決方法

2014 年 9 月 2 日

内田智久(KEK Esys)

最近の PC には Windows8 が搭載されていますが、Xilinx 社 ISE ツールは Windows8 に対応していません。しかし Windows8 搭載 PC 以外の PC を持っていない方も多いため、Windows8 使用時に発生する Xilinx ISE14 の問題とその解決方法についてまとめておきます。なお、これらの情報は非公式ですので動作を保証するものではない事をご承知おきください。情報は Open-It メンバーである三輪氏（東北大学）、西田氏（KEK）から提供していただきました。お二人に感謝いたします。

症状 1 : ライセンスが正しく設定できない

ISE インストール後にライセンスファイルを登録する必要があります。登録方法などは他の文献（例えば Install_XilinxISEWebPack14.pdf など）を参照して下さい。

登録後に License configuration manager により該当ライセンス項目(例えば、WEBPACK)を確認すると Information 欄に登録アドレスが表示されるが、設定できない時は表示されません。表示されない時は次の様に設定して下さい。

解決方法 : ライセンス設定時に [copy license] ボタンを使用せずに XILINXD_LICENSE_FILE 欄にパスを含めたライセンスファイル名を直接書くと設定できる。設定を行う前にライセンスファイルを適当なフォルダ（例えば ISE のインストールディレクトリ）へコピー後に行う事をお勧めします。

症状 2 : GUI 画面が消える

64bit PC で発生する。ISE は起動するがファイル操作などを行うと画面が消えてしまう。インストール直後のライセンス取得時、iMPACT や Plan Ahead などでも発生する。

64bit 版は File Dialog を開く部分に問題があり、動作しない。

解決方法 :

【解決法 1 : 64bit 版を動作させる】

1. C:\Xilinx\14.7\ISE_DS\ISE\lib\nt64 内の libPortability.dll を libPortability-orig.dll などに名前を変更
2. libPortabilityNOSH.dll をファイル名 libPortability.dll としてコピー

- C:\Xilinx\14.7\ISE_DS\common\lib\nt64 でも同様に libPortability.dll の名前を変え、上記フォルダから新しい libPortability.dll をコピーする。

【解決法 2 : 32bit 版を使う】

- ISE (ise.exe) の 32bit 版は動作する。
- iMPACT は、以下の方法で Cable driver は 64bit 版を使いつつ、32bit 版を使う。
 - 1) 64bit 版 Remote Cable Server (se_server.exe) を起動し、ケーブルをつなぐ。
 - 2) 32bit 版 iMPACT (impact.exe) を起動し、Boundary Scan を選択。Output menu に新しく "Cable Setup" というのができているはずなので、これを選ぶ。正しいケーブルのタイプを選び、Remote cable location の Host Name には localhost と入力。
 - 3) Initialize chain を行い、通常どおり書き込みを行う。

症状 3 : ISIM が起動しない

以下のエラーがコンソールに表示され ISIM が起動しない。

```
ERROR:Simulator:861 - Failed to link the design
```

解決方法 :

C:\Xilinx\14.7\ISE_DS\ISE\gnu\MinGW\5.0.0\nt\libexec\gcc\mingw32\3.4.2\にインストールされている collect2.exe のファイル名を変更する。ファイル名は他のファイルと重複しなければ何でもよい。

以上